

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和6年12月13日（金）

2 確認箇所

1～2号機原子炉建屋周辺（図1）

3 確認項目

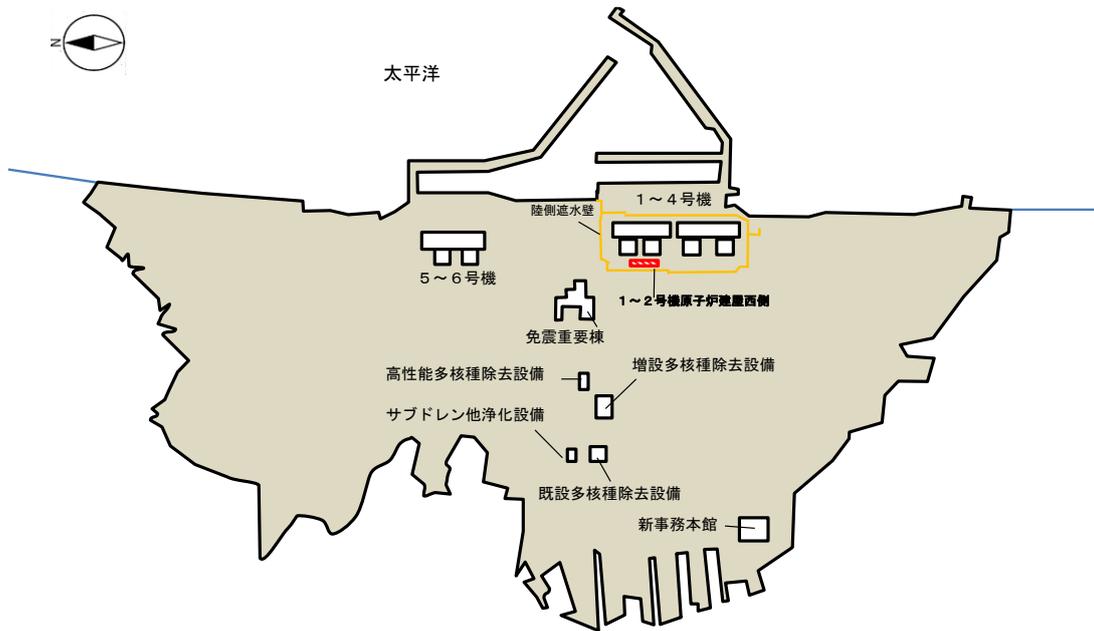
1～2号機建屋周辺陸側遮水壁内側のフェーシング工事の状況

4 確認結果の概要

東京電力は、放射線量の低減及び雨水の地下浸透抑制のために、構内地表面をアスファルト等で覆うフェーシング工事を進めている。1～4号機建屋周辺の陸側遮水壁内側においては、約6万㎡のうち約50%（令和6年度2月末時点）のフェーシング工事が完了しており、今後さらに、フェーシング工事のエリアを拡大していくことが計画されている。

今回は、1～2号機原子炉建屋西側におけるフェーシング工事の進捗状況及び実施予定箇所の状況を確認した。（前回確認日：令和6年5月8日）

- ・前回の確認時と比較して、1号機廃棄物処理建屋西側および2号機廃棄物処理建屋西側の一部エリアでフェーシング工事が進捗していた。（写真1）
- ・フェーシング面に降った雨を排水するための側溝が設けられていた。（写真2）
- ・フェーシング工事が今後予定されている2号機原子炉建屋建屋西側エリアの大部分は、重機通行用の敷鉄板が敷設されていた。また、当該エリア内に大型クレーンが配置されていた。（写真3）
- ・東京電力によると、大型クレーンを用いる作業と調整した結果、当該エリアのフェーシング工事の実施時期を令和6年度から令和7年度に変更すること。
- ・東京電力は、フェーシング工事や局所的な建屋止水等により汚染水の発生量を令和10年度までに約50～70㎥/日に抑制することを目指すとしている。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
フェーシング工事の状況①
※敷鉄板の下は、コンクリート及びアスファルトで覆われている。



(写真1-2)
フェーシング工事の状況②
※1号機廃棄物処理建屋西側付近の様子



(写真2)
フェーシング面の周囲に設けられた
側溝の状況



(写真3)
フェーシング工事予定箇所に設置さ
れた大型クレーンの状況

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。